

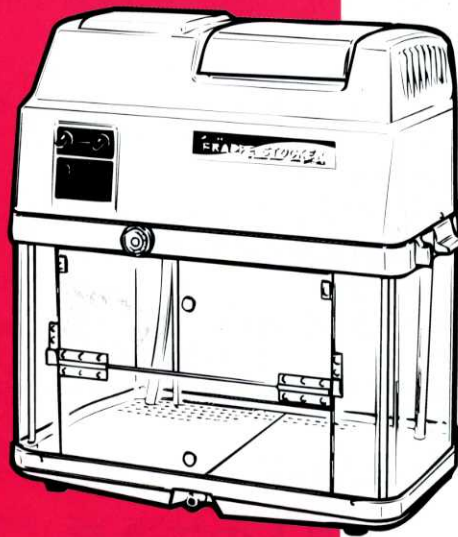
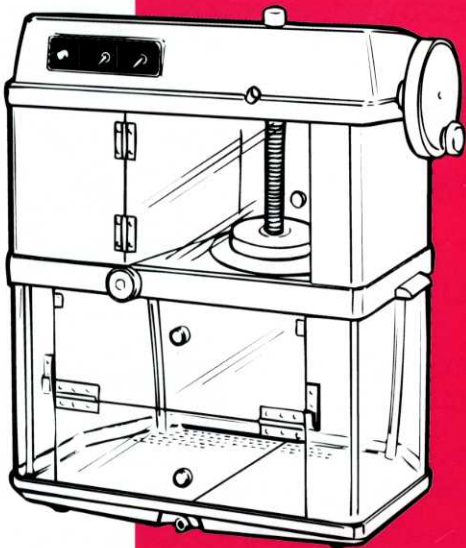


ストッカー付電動式氷削機

取扱説明書

ブロック氷(市販氷)専用
MODEL **CFB-250**

バラ氷専用
MODEL **CFC-35S**



このたびはスワン氷削機をお買いあげいただきまことにありがとうございました。

製品を正しく安全に使っていただくために、ご使用前に必ずこの説明書を十分にお読みください。また、お読みになった後は大切に保存してわからない時は再読してください。

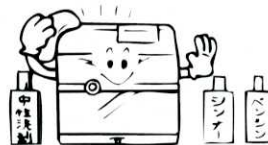
なお、製品の転売に際しても必ず共にお渡しください。

もくじ	製品を正しく安全に使っていただくために	1・2
	各部の名称と働き (CFB-250)	3
	(CFC-35S)	4
	ご使用のしかた (CFB-250)	5
	(CFC-35S)	6
	刃物の交換のしかた	7
	ブレーキ調節について (CFB-250)	7
	Vベルト張力調節	8
	氷が削れない場合の原因と処置 (CFB-250)	8
	(CFC-35S)	9
	寸法図・仕様	9
	使用刃物原寸図	10
	保証書・保証とアフターサービス	裏表紙

製品を正しく安全に使っていただくために これだけは守ってください

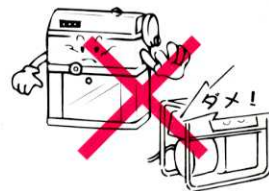
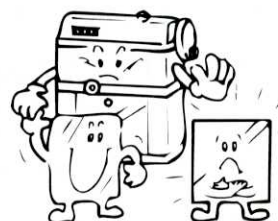
安全にご使用いただくために

- 本製品は削った氷を一時備蓄出来るストッカー付き業務用氷削機です。他の用途には、ご使用にならないでください。
- 本取扱説明書を最後までお読みになり、使用上の注意事項、使用方法など十分ご理解のうえで正しくご使用ください。
(お子様など正しい取扱いを十分知っていない人、正しい操作が出来ない人には絶対に使わせないでください。)
- 本製品は電気製品です。感電事故防止のため必ずアースを取り付けてください。
- 使用電源は、単相100Vをご使用ください。
△(タコ足配線、継ぎ線はしないでください。発熱による危険や電圧低下による故障の原因になります。)
- 本体に水をかけたり、水の中に入れてないようにしてください。
- 機械の設置は水平で丈夫な場所、また、水滴等が落ちてもし差し障りのない所に置いてください。
- 本体カバーは樹脂製ですので、直射日光の当たる場所や熱器具の近くに置いたり、お手入れ等でシンナー類を使うと変形や故障の原因になります。



使用上のご注意

- 冷凍庫に保管された白く硬くなった氷を、すぐに削りますと刃物の損傷の原因になります。氷がある程度透明のゆるめた状態になってからご使用ください。また、氷は氷削室内に放置しないでください。氷が刃物部に溶けて食い込みモーターが廻らなくなり故障の原因になります。
- 電源に発電機を使用しないでください。
(発電機使用時の故障は責任をもちません。)
やむを得ず一時的にご使用の場合は必ず出力1.5kw以上の交流100Vの発電機をお使いください。出力1.5kw以下の場合、本機のモーターが焼損する恐れがありますので使用しないでください。
- 氷削室(円盤内)には絶対に、手を入れないでください。
もし、お手入れ等を入れる時は、電源スイッチを切りプラグもコンセントから抜き、刃物の調節ツマミを右に廻して細かくしてから行ってください。



製品を正しく安全に使っていただくために これだけは守ってください

CFB-250の場合

- 刃物および氷押えの釘は非常に鋭利で危険です。
氷の出し入れ時等、受傷しないよう取扱いには十分注意してください。
- 氷は必ず水平な面を上にして円盤の中心に置き、
氷押えの釘を十分にくい込ませてください。不十分な置き方、押え方は氷が飛び出し危険です。

CFC-35Sの場合

- 刃物は非常に鋭利で危険です。
受傷しないよう取扱いには十分注意してください。
- 氷の投入量は、
氷削室(回転筒)の上から約1cm以上空くようにしてください。
多く入れすぎますと氷が飛び出し危険です。また、フタスイッチが作動しなくなります。
- 氷以外の異物を
氷削室に投入しないようご注意ください。刃物の損傷、モーター故障の原因になります。

保守・点検

- 使用前に必ず氷削室、氷出口を掃除して衛生的にし、
氷削室に氷以外の異物がないことを確認してください。
- 常に安全に効率よくご使用いただくため定期点検をしてください。
刃物の先端部が摩耗したり折損したものを、そのまま使用
になっておりますとモーターやベルト等に無理をかけること
になり故障の原因となりますから早めに新品と交換してくだ
さい。また、各部取付けネジがゆるんでいないか点検し、も
しゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。
- 一日の営業終了時、また異常および点検の時は電源スイッチ
を切り、
電源プラグもコンセントから抜いてください。プラグをコン
セントから抜く時はコードを引っばらずプラグを持って抜い
てください。
- シーズン終了後や長時間使用しない時は、
刃物を取り外し、手入れ後塗油し、油紙等で包み保管してく
ださい。
本体は柔らかい布で水分を取り去り十分乾かしてから湿気の
少ないところに重量物を上から乗せないようにして保管して
ください。



各部の名称と働き

(CFB-250)ブロック氷(市販氷)専用

照明用スイッチ

夜間でのご使用の時、照明用スイッチを入にしてください。ストック一部と前面イラスト部が照明され、氷も美しく見えます。

電源スイッチ

氷を削る時は、スイッチを上(入)にしてください。削り終わりましたら下(切)にしてください。

ヘッドカバー

プロテクター (モーター保護スイッチ)

刃物部や回転部のトラブルでモーターが回転できなくなった場合にモーターの損傷(過電流が流れる)を防ぐために自動的に機械が停止します。この場合、電源スイッチを切り(プラグもコンセントからはずしてください)原因を取り除いてからプロテクターを押してください。モーターは自動的に復帰します。

原因を取り除いた後
中に押す
異常発生時、自動的に
ボタンは前に飛び出す

異常発生時 正常位置

上部切削部扉

カップホルダー(別売) 取付け部

盤掛ブロック左側に取付け部があります。

粗さ調節ツマミ

粗くする時は、調節ツマミを左に廻します。細かくする時は右に廻します。ツマミはゆっくりと廻してください。

排水ホース差込口

ご使用前に必ず排水ホースの(口径の細い方)をしっかりと差し込み排水口等、濡れてもよい所にひいてください。

ブレーキ調節穴 (P7参照)

上下ハンドル

ハンドルを左に廻しますと主軸、氷押えが上にあがります。右に廻しますと下にさがります。氷を押える時は、釘がしっかりと氷にくい込むように強く廻してください。

氷押え(主軸)

上部 サイドカバー

盤掛ブロック

下部 サイドカバー

ストック一部

ベース

台ゴム

下部上下開き扉

扉全体を上を持ち上げれば左右のフックから扉をはずすことができます。

金網(左右)

排水ホース

各部の名称と働き (CFC-35S)バラ氷専用

照明用スイッチ

夜間でのご使用の時、照明用スイッチを入にしてください。ストッカー一部が照明され、氷も美しく見えます。

電源スイッチ

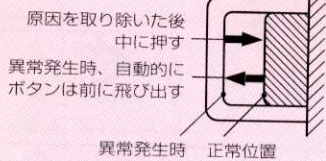
氷を削る時は、スイッチを上(入)にしてください。削り終りましたら下(切)にしてください。

上ボタン(フタスイッチ)

フタが開いている時は、機械が運転しないようになっています。氷を削られる時は必ずフタを閉めてください。また投入口内に大量の氷を入れますとフタが浮き上がりスイッチが入らず運転しなくなります。

プロテクター (モーター保護スイッチ)

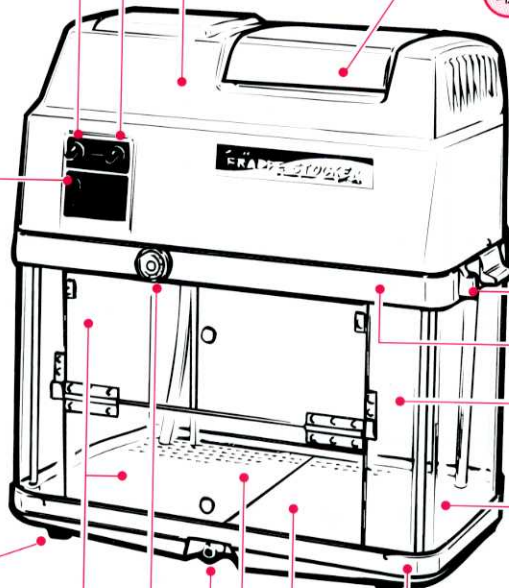
刃物部や回転部のトラブルでモーターが回転できなくなった場合にモーターの損傷(過電流が流れる)を防ぐために自動的に機械が停止します。この場合、電源スイッチを切り(プラグもコンセントからはずしてください)原因を取り除いてからプロテクターを押してください。モーターは自動的に復帰します。



ヘッドカバー

カップホルダー (別売)取付け部

メインフレーム左右に取付け部があります。



メインフレーム

ストッカー部

下部 サイドカバー

ベース

金網(左右)

台ゴム

下部上下開き扉

扉全体を上を持ち上げれば左右のフックから扉をはずすことができます。



排水ホース

粗さ調節つまみ

粗くする時は、調節つまみを左に廻します。細かくする時は右に廻します。つまみはゆっくりと廻してください。

排水ホース差込口

ご使用前に必ず排水ホース(口径の細い方)をしっかりと差し込み、排水口等、濡れてもよい所にひいてください。

ご使用のしかた

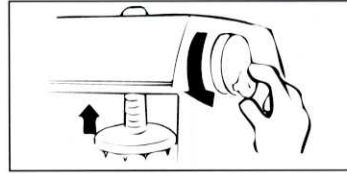
(CFB-250)ブロック氷(市販氷)専用

●ご使用になる前に

- 水受皿に排水ホース(口径の細い方)をしっかりと差し込み、排水時濡れてもよい所にひいてください。
- 上下ハンドルは別に梱包されていますので取り付けてください。
ハンドルをヘッドカバー右側面にあるシャフトのピンにはめ込み、中央のネジでしっかりと固定してください。

1 主軸を上を上げてください。

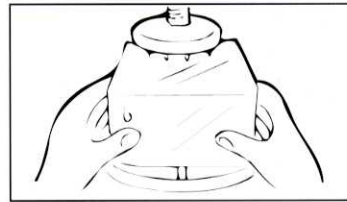
上下ハンドルを左に廻して主軸・氷押えを上へあげてください。



2 上部切削部扉を開き、氷を乗せてください。

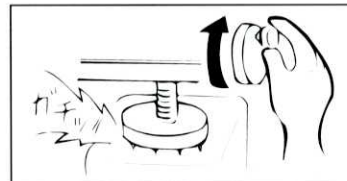
(刃物、氷押えの釘に十分注意してください。)

氷を円盤中央に乗せてください。氷は水平な面を上にしてください。不安定な置き方は氷が振れたり、飛び出したりして非常に危険です。また、氷は透明のゆるめた状態でお使いください。



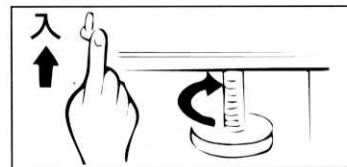
3 氷をしっかりと押さえる。

上下ハンドルを右に廻して氷押えが、氷にしっかりとくい込む迄、強く廻してください。
上部切削部扉を閉めてください。



4 スイッチを入れてください。

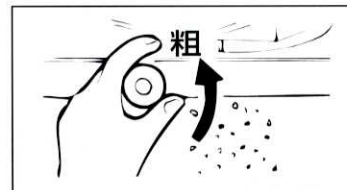
電源スイッチを上(入)にしますと主軸・氷押えが回ります。



5 氷の粗さ調節をしてください。

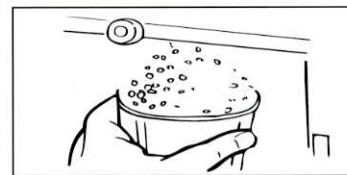
盤掛ブロック前面の粗さ調節ツマミを左に廻しますと次第に粗くなってきます。

- 粗さ調節は出荷時は0(ゼロ)になっています。
調節はゆっくりと行ってください。



6 氷がストッカー内に削り出されます。

氷の出る所に容器を持って行って受けてください。又、ストッカー一部に一時的に蓄えてお使いの場合はお玉等で容器に盛り付けてください。



7 使い終わりましたら電源スイッチを下(切)にしてください。

8 上下ハンドルを左に廻して主軸・氷押えを上げてください。

(氷を取り除く前に必ず刃物の調節ツマミを右に廻して0(ゼロ)にしてください。)

9 上部切削部扉を開け、氷を取り除いた後、扉を閉めておいてください。

(刃物、氷押えの釘に十分注意してください。)

ご使用のしかた (CFC-35S)バラ氷専用

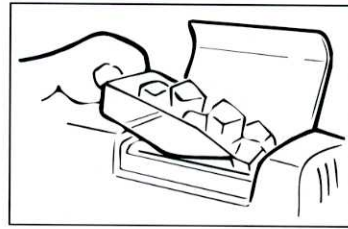
●ご使用になる前に

■水受皿に排水ホース(口径の細い方)をしっかりと差し込み、排水時濡れてもよい所にひいてください。

1 フタを開けて氷を投入してください。

氷は必要量だけ投入してください。

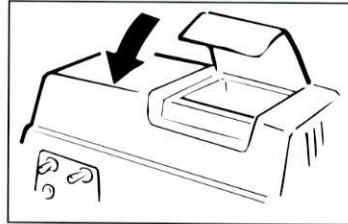
- 氷削室(回転筒)上部より1cm位少なめの量にしてください。氷が飛び出したり、フタが浮き上がりフタスイッチが作動しなくなります。
- 一度投入した氷は取り出すことはできません。



2 フタを閉めてください。

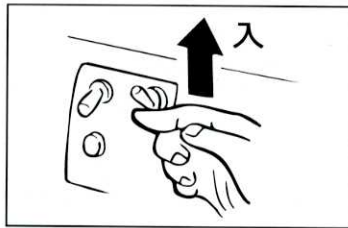
フタの内側奥に安全スイッチを取り付けていますので、フタを開けたままでは運転はしません。

△(フタスイッチは故障の原因になりますから絶対に指先等で操作しないでください。)



3 スイッチを入れてください。

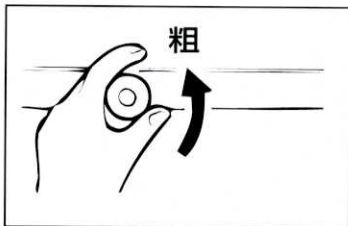
電源スイッチを上(入)にしますとモーター始動と同時に氷削を開始します。



4 氷の粗さ調節をしてください。

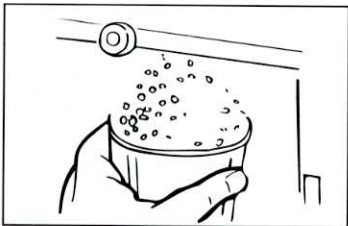
メインフレーム前面の粗さ調節ツマミを左に廻しますと次第に粗くなってきます。

- 粗さ調節は出荷時は0(ゼロ)になっています。調節はゆっくりと行ってください。



5 氷がストッカー内に削り出されます。

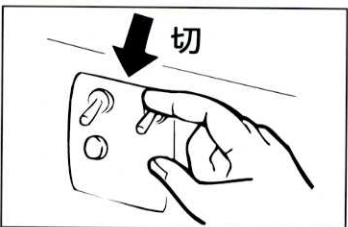
氷の出てくる所に容器を持って行って受けてください。又、ストッカー一部に一時的に蓄えてお使いの場合はお玉等で容器に盛り付けてください。



6 スイッチを切ってください。

使い終わりましたら電源スイッチを下(切)にしてください。

- 氷削室には氷が残らないようにしてください。
- フタスイッチでの入・切はしないでください。また、使用しない時はフタは必ず閉めておいてください。



刃物の交換のしかた (CFB-250, CFC-35S)

- 刃物は1シーズンに2~3度お取り替えください。刃物が切れなくなった時は付属刃物と交換してください。
- 新しい刃物のお求めは、製品を購入したお店にご相談ください。
- ステンレスの刃物は研磨することは困難です。新しい刃物と交換することをおすすめします。

取りはずし方

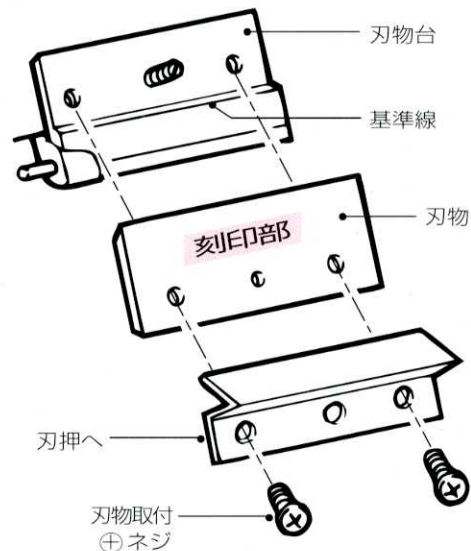
(刃物に気をつけてはずしてください。)

1. 下部上下開き扉を取り外してください。
下部扉全体を上を持ち上げれば左右のフックから外すことができます。
2. 粗さ調節ツマミを右に一杯に廻す
3. ⊕ネジ2本を左に廻して、刃押えと刃物をはずしてください。
△(注)中央のネジは触らないでください。

取り付け方

1. 新しい刃物(刻印が見えるように)を刃物台の基準線に正確につける。
CFB-250用の刻印は「86SWAN」
CFC-35S用の刻印は「FM500」
2. 刃押えを刃物取付⊕ネジ2本で取付け、刃物が基準線から上がらないようにゆっくりと固定する。
3. 下部上下開き扉を取り付けてください。

■刃物部取り付け図



ブレーキ調節について (CFB-250)(CFC-35Sはブレーキ調節はありません)

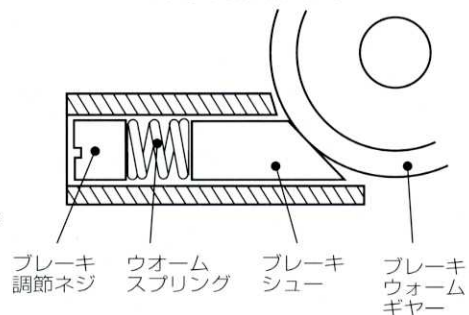
- 氷が上手に削れない時にご使用ください。(調節位置はP3のイラスト参照)
(下記の他は原因と処置の項を参考にしてください。)

上下ハンドルが非常に軽く廻るときは、右(時計廻り)の方向に⊖ドライバーで調節してください。
上下ハンドルが非常に重く廻るときは、左(反時計廻り)の方向に⊖ドライバーで調節してください。
△(注)ブレーキ調節は出荷時に調節をしていますので、初めはさわらないでください。

●ブレーキシューの交換は

1. ヘッドカバー中央の調節穴より⊖ドライバーで左に廻して調節ネジを取り除いてください。
2. 調節ネジ、スプリングと共にシューが取り出せます。グリスでシュー等が取り出せない場合は、機械を手前に傾けてください。
3. シューの入れ方はその逆の動作で行ってください。シューの向きは図のように入れてください。

■ブレーキ調節部断面図



Vベルト張力調節方法 (CFB-250, CFC-35S)

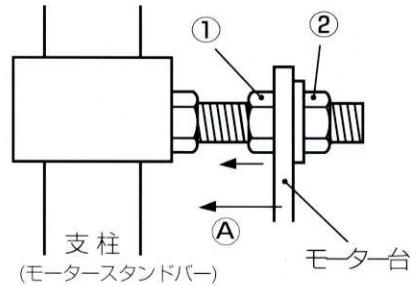
(ベルトがスリップしている時)

●特殊ベルトを使用していますので、調節の必要はほとんどありませんが機械を頻繁に使われて氷が削りにくくなった時は一度調節してみてください。

1. **CFB-250の場合** 上下ハンドル、ヘッドカバーをはずしてください。

CFC-35Sの場合 ヘッドカバーをはずしてください。

- ①のナットを約1cm位矢印方向(支柱側)にゆるめてください。
- 氷をセット(投入)し、電源も入れモーターを廻しながら②のナットを時計方向に廻してモーター台をAの矢印方向に押しやってください。氷が正常に削られるようになればベルトは張られています。
- ①のナットを反時計方向に廻してモーター台に付けてください。これで完了です。カバー類を取付けてください。



氷が削れない場合の原因と処置 (CFB-250)

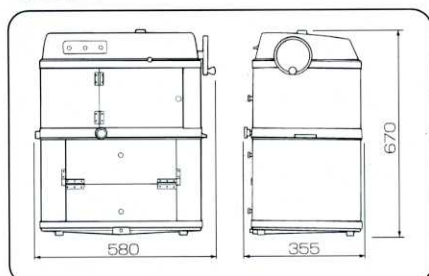
症 状		原 因		処 置
回転しない	モーターが回転しない	コード	●電源プラグの差し込みが不完全 ●コードの断線	●電源コンセントに確実に接続してください ●コードの取替
	主軸が回転しない	キ	●ブレーキウォームギヤーのノックの損傷 ●大Vプーリーのキーの損傷	●ノックの入替 ●キーの入替又は大Vプーリーの取替
	主軸が上下しない	上下ハンドル ブレーキウォームギヤー	●上下ハンドル固定ピンの脱落 ●ブレーキウォームギヤーの摩耗	●固定ピンを取り付ける ●ブレーキウォームギヤーの交換
削れない	刃物が切れない	刃物	●刃が欠けたり、ひどくいたんでいる	●刃物交換
	氷が飛び出したりフラつく	刃物	●刃物が円盤の外側より中心部が上がっている ●刃が切れないため、刃を出しすぎている	●刃物を平行に取付ける ●刃物交換
		ブレーキ	●ブレーキの強弱調節が弱い	●ブレーキを右に廻して締め付ける
		氷押え	●十分に釘が喰い込んでいない	●氷の平行な面を上下にする
	氷が細くなりすぎる	刃物	●刃の取り付けが悪いか刃が切れない	●刃物を正確に取り付ける
		ブレーキ	●ブレーキ調節が弱い	●ブレーキを右に廻して締め付ける
氷が粗くなりすぎる	刃物	●刃が切れないため、刃を出しすぎている	●刃物交換	
	ブレーキ	●ブレーキ調節が強い	●ブレーキを左に廻してゆるめる	
	氷の粗さが一定しない	ブレーキウォームギヤー	●ブレーキウォームギヤー(いもの)の摩耗	●ブレーキウォームギヤーの交換
ブレーキシュー		●ブレーキシュー、スプリングの摩耗、へたり	●ブレーキシュー、スプリングの交換	
上下ハンドル	回転が重い	ブレーキ	●ブレーキを締めすぎている	●ブレーキを左に廻してゆるめる
	回転が軽い	ブレーキ	●ブレーキをゆるめすぎている	●ブレーキを右に廻して締め付ける
		ブレーキシュー	●ブレーキシュー、スプリングの摩耗、へたり	●ブレーキシュー、スプリングの交換

氷が削れない場合の原因と処置 (CFC-35S)

症状	原因	処置	プロテクター	
回転しない	コード	●電源プラグの差し込みが不完全 ●コードの断線	●電源コンセントに確実に接続してください ●コードの取替	
	モーター	●モーターブリーが空回りしている	●ブリー取付けネジを締付ける	
	安全スイッチ	●スイッチの不良 ●コードの断線	●スイッチを取替える ●コードの取替え	
氷削室(羽根)がゆるやかにしか回らない又は回らない	氷削室	●異物が羽根に引っかかっている ●羽根締付ナットがゆるんでいる	●異物を取り去る ●ナットをしっかり締付ける	●作動 処置後プロテクターボタンを押す
	Vベルト	●Vベルトが延びている ●Vベルトが切れかかっている又は切れている	●調節する ●Vベルト交換	
	刃物	●刃物取替時で刃が出過ぎ羽根に当たっている	●刃物を正確に取付ける	●作動 処置後プロテクターボタンを押す
削れない	刃物	●刃物がひどく痛んでいる	●刃物交換	●作動 処置後プロテクターボタンを押す
	氷削室	●異物が氷削室の中に入っている	●氷削室の中を点検、異物があれば取除くこと	
	刃物	●刃物の取付けが悪い、刃が切れない	●刃物を正確に取付けるか刃物を取り替える	
氷が細かくなりすぎる	粗さ調節ツマミ	●ツマミが右に廻りすぎている	●ツマミで調節する	
	粗さ調節ツマミ	●ツマミが左に廻りすぎている	●ツマミで調節する	
氷が粗くなりすぎる	氷削室	●氷が片側に寄っている	●氷を平均に入れるか補充する	
	刃物	●刃物が切れなくなっている ●刃物を出しすぎている	●刃物交換 ●刃物の出かたを調節する	
	設置	●設置が安定(水平)しない	●設置面を確認し丈夫な板を敷く	
機械の設置面が濡れる	排水ホース	●排水ホースの差し込みが不完全	●差し込みを確認する	
	設置	●設置が安定(水平)しない	●機械の設置が水平なのを確認する	

CFB-250

寸法図

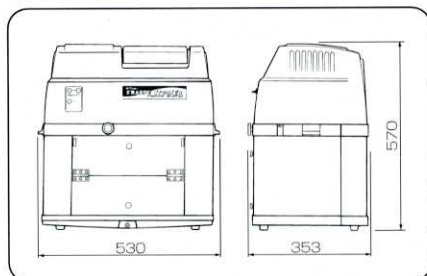


仕様

- 電源 / 単相100V 50/60Hz
- 定格消費電力 / 195/175W
- 定格時間 / 30分
- 氷削能力(分・標準) / 1.8~2.5kg/min
- 円盤有効径 / 216mm
- 外形寸法 / 横幅580(ハンドル含む) × 奥行355 × 高さ670mm(主軸が上がった時820mm)
- 重量 / 32kg
- ストック容量 / 約8kg(13オンスカップ約40杯分)
- 付属品 / 替刃1枚、排水ホース1本

CFC-35S

寸法図

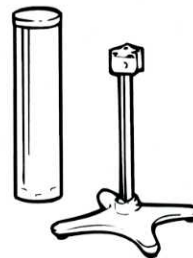


仕様

- 電源 / 単相100V 50/60Hz
- 定格消費電力 / 175/210W
- 定格時間 / 30分
- 氷削能力(分・標準) / 1.5kg/min
- 外形寸法 / 横幅530 × 奥行353 × 高さ570mm(フタを開けた時785mm)
- 重量 / 24kg
- ストック容量 / 約8kg(13オンスカップ約40杯分)
- 付属品 / 替刃1枚、排水ホース1本

CFB-250, CFC-35S用 便利なオプション(別売)

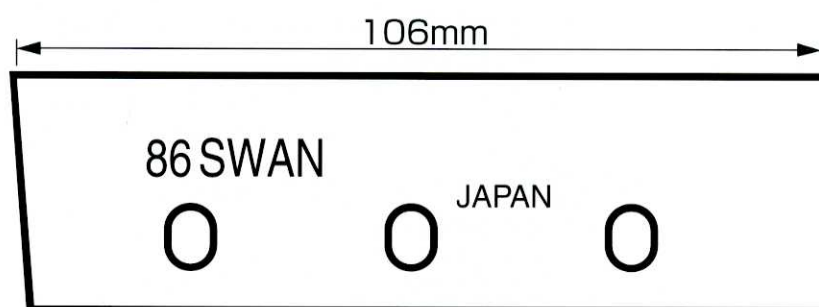
- カップホルダー
13オンスカップ20コ
収納できます。
- CFB-250は左に1本、
CFC-35Sは左右に各1本
取付けられます。
- カップホルダー
スタンド
カップホルダーが4本まで
取付け可能です。



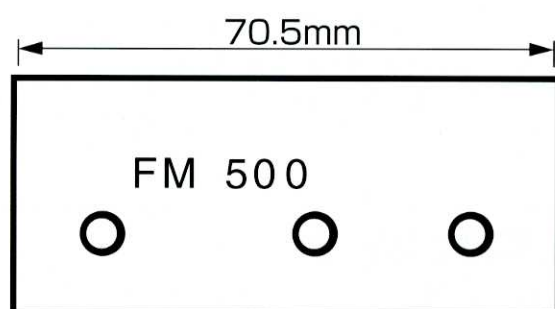
●仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更する場合があります。

使用刃物原寸

CFB-250



CFC-35S



№ 000310

保証書

型番	スワン氷削機 CFB-250 CFC-35S		
お買上年月日	年	月	日
保証期間	1年		
お客様	ご住所	□□□□-□□□□ TEL - -	
	氏名	様	
お買上店	住所・店名・電話		

スワン氷削機保証規定

本製品は当社において厳重なる品質管理のもとに検査され合格したものでありますが、万一お買上後1年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には無償修理します。なお、次の場合における故障には保証期間内でもその実費をいただきます。

1. 不適当な取扱いによる故障・過度の使用による消耗
2. 火災その他の天災地変により生じた損傷、過失又は事故により生じた故障と認めた場合
3. 製品に改造を加えた場合
4. お買上げ店以外で修理された場合
5. 刃物、刃物調節ネジ、刃押え止めネジ、Vベルト等の消耗品
6. お買上げ後の輸送、移動、落下等による損傷及び故障の場合
7. 保証書のご提示がない場合、また、お名前、保証番号、お買上げ年月日の記入及び販売店名の印なき場合

※ 保証期間の内外に関わらず機械の故障により発生した業務上の保証(操業保証)はいたしません。

※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

※ この保証書の再発行はいたしませんので大切に保存してください。

 池永鉄工株式会社

大阪市東成区東今里3丁目18番26号

-----キリトリ線-----

保証とアフターサービス

1 保証書 保証期間はお求めの日から1年間

この製品には保証書が添付されていますので所定事項の記入および記載内容をお確かめいただき、大切に保存してください。

2 アフターサービスについて

修理を依頼されるとき

お求めの販売店にご連絡いただき、保証書をご提示ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合はご希望により有料で修理いたします。

3 アフターサービス等について、おわかりにならないとき

お求めの販売店にお問合わせください。

 池永鉄工株式会社

本社 大阪市東成区東今里3丁目18番26号
〒537-0011 TEL (06) 6981-0141(代)
FAX (06) 6976-8628

東京 東京都三鷹市下連雀3丁目42-15-603
〒181-0013 TEL (0422) 40-1160
FAX (0422) 40-1180

工場 大阪・四日市・南部

0603300